

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策において、地震・台風・火事等様々な災害場面を想定した避難訓練の実施が必要である。	地震、台風等の災害時の備蓄品の確保及び緊急時の対応に備えたスムーズな行動が敏速に行える。	備蓄品に関しては、飲み水や缶詰のパン、水で出来るご飯等の非常食を少しずつ確保していく。火災訓練に関しては、11月に夜間を想定した避難訓練を実施する。また春には消防署の協力のもと訓練を実施する。	6ヶ月
2	40	利用者が自主的に参加できる環境を提供する必要がある。	今回、朝食時にパンの日を設けカタログの中から利用者が食べたい物を選べるようなシステム作りを行っていく。また可能な利用者には食事の準備なども参加して頂く。	パンに関しては10月から開始し、毎回利用者が食べたいパンを選べる工夫を実施した。また食事づくりの参加については、可能な限り参加できる支援委心がけていく。	1ヶ月
3	10	家族会の開催やアンケート等家族の意見を聴く機会を設ける必要がある。	利用者、家族、施設が1つになる。	家族会の発足には、就業家族も多く早急には困難な状況と判断する。まずは、3か月に1回程度、要望や施設に対しての意見などお聞きしていく。	3ヶ月
4	26	ユニットごとの独立したケアが目立ち、施設全体の統一が必要である。	3フロア全体が統一した理念のもとケアができる。	各フロアのケアマネの会議を月に1回開催し利用者のケア内容の検討や職員教育等を話す機会を設け施設全体の統一を図っていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。